

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2014-14349

(P2014-14349A)

(43) 公開日 平成26年1月30日 (2014.1.30)

(51) Int. Cl.	F 1	テーマコード (参考)
AO 1 K 23/00 (2006.01)	AO 1 K 23/00 B	2 B 1 O 1
AO 1 K 1/01 (2006.01)	AO 1 K 1/01 Z	

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願2012-166372 (P2012-166372)
(22) 出願日 平成24年7月9日 (2012.7.9)

(71) 出願人 500482898
玉井 晃
神奈川県横浜市青葉区松風台39-21
(72) 発明者 玉井 晃
神奈川県横浜市青葉区松風台39-21
Fターム (参考) 2B101 AA13 CA08

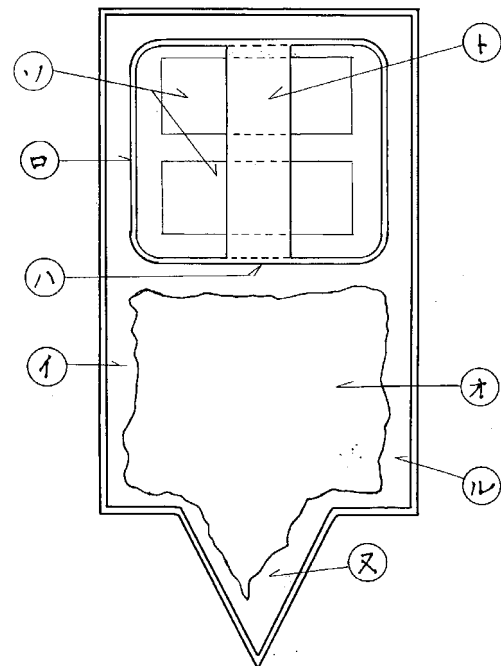
(54) 【発明の名称】 犬用携帯便器

(57) 【要約】

【課題】 公道上における、公衆衛生の向上、建造物に対する腐食、汚染の防止、公道の美観をはかりたい。

【解決の手段】 広く社会に公示する。

【選択図】 図2



【特許請求の範囲】

【請求項1】

携帯できる犬用便器

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は公道上における、犬の運動時の排泄物を受容し、自宅に持ち帰る事を目的としている。

【背景技術】

【0002】

従来公道上における、犬の運動時、排泄したふんは収集し、自宅に持ち帰り処理していた、また排尿は公道上又は建造物に排尿後そのまま放置、又は水にて希釈が行われていた。

【発明の概要】

【0003】

この発明は上記欠点を除去し、ふん、尿ともに公道や建造物を汚損する事無く受容し、公道上の衛生状態の保全、建造物の腐食、汚染を防止し、公道上の美観を保持しようとするものである。

図-1 はこの携帯便器の正面図である、

図-2 はこの携帯便器の平面図である、

図示の通り周辺が高く、中が低い皿状の受け皿▲イ▼と角柱▲ロ▼が一体になった携帯便器を提供する。

図示の通り受け皿▲イ▼の周辺▲チ▼が高くなっており、尿のこぼれを防ぐ構造になっている、図-2 の▲ヌ▼はメス犬用排尿受け面である、メス犬が排尿姿勢に入った場合、後足の間に差し入れて尿を受容する。

▲ル▼はメス オス共用の排便受け面である、犬が排便姿勢に入った時犬と公道の間に差し入れ受容する、▲ヌ▼部と▲ル▼部にはあらかじめ吸湿剤▲オ▼を敷いておき、排便後ふんとともに角柱下部に設けられた、ふん格納庫▲ハ▼に収納する。

角柱▲ロ▼はオス犬用排尿受けであり、左右と後方三面を活用できる、この排尿受け面は小穴▲ヘ▼が開けてあり、尿をふん格納庫に導入する、

角柱▲ロ▼の下部はふん格納庫であり、上部は新品吸湿剤▲ソ▼の収納庫である、

【課題を解決するための手段】

【0004】

この発明は犬の排泄物を受容するため、腐食に強い材質で構成する。

【発明の効果】

【0005】

この発明により建造物の腐食、汚染が皆無となり、公道上の衛生が保たれる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0006】

広く社会に告知しこの発明の普及をはかる。

【図面の簡単な説明】

【0007】

【図1】図-1 は正面図である、周辺が高く中央が低い皿状の受け皿▲イ▼と、受け皿の後方に角柱▲ロ▼を一体化した構造となっている、角柱▲ロ▼の下部二分の一はふん格納庫であり、底板▲ホ▼により上部新品吸湿剤収納庫▲ニ▼区分されている、ふん格納庫は前方が開口部となっている、▲ヨ▼はオス犬用排尿受け面であり、図示以外にも左側面、後面と三面を活用できる、▲ヘ▼は尿導入穴であり、尿をふん格納庫内に導入する、▲ソ▼は新品吸湿剤、▲ト▼はとってである。

【図2】図-2 は平面図である、前方▲ヌ▼はメス犬の排尿受け面、▲ル▼部はメス、オス共通の排便受け面、▲オ▼は吸湿剤、▲ト▼はとってである、▲ソ▼は新品吸湿剤、▲ハ▼はふん格納庫である。

10

20

30

40

50

【図 3】図 3 は背面図である▲チ▼は受け皿外周、▲ハ▼はふん格納庫、▲ホ▼は底板、▲ニ▼は新品吸湿剤収納庫、▲ソ▼は新品吸湿剤、▲へ▼はオス犬用尿導入穴である。

【図 4】図 4 は右側面図である、▲ヌ▼はメス犬用排尿受け面、▲ル▼はメス、オス兼用排便受け面、▲ヨ▼はオス犬用尿受け面である。

【符号の説明】

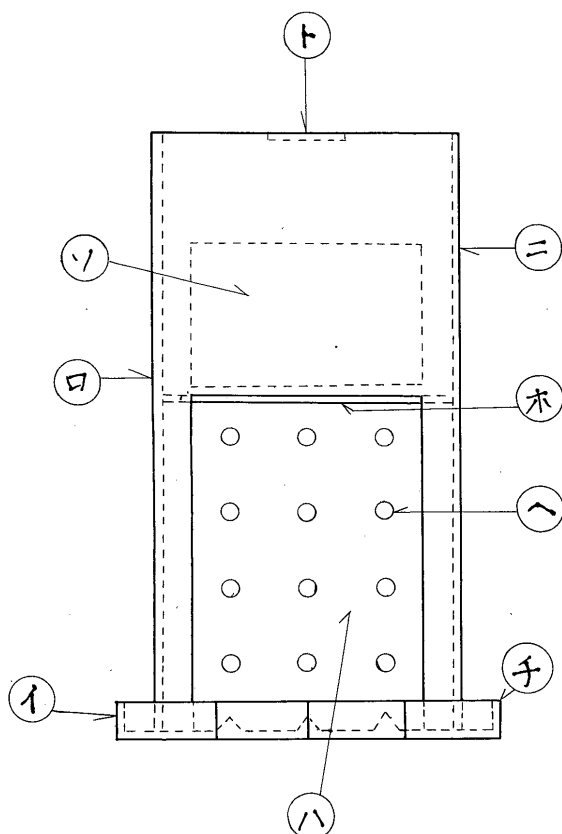
【0008】

- ▲イ▼ 受け皿
- ▲ロ▼ 角柱
- ▲ハ▼ ふん格納庫
- ▲ニ▼ 新品吸湿剤収納庫
- ▲ホ▼ 底板
- ▲ト▼ とって
- ▲へ▼ オス犬用尿導入穴
- ▲チ▼ 受け皿周辺部
- ▲オ▼ 吸湿剤
- ▲ヌ▼ メス犬用排尿受け面
- ▲ル▼ メス、オス共通排便受け面
- ▲ソ▼ 新品吸湿剤
- ▲ヨ▼ オス犬用排尿受け面
- ▲チ▼ 受け皿外周

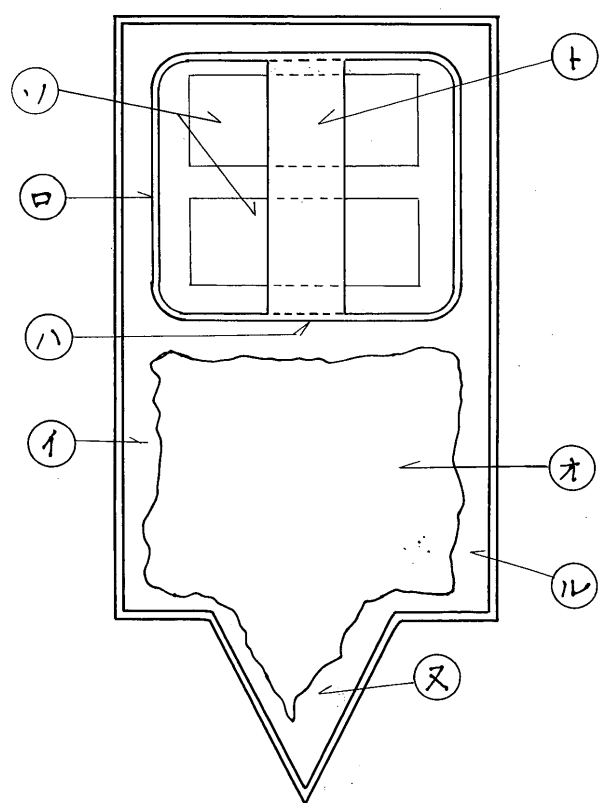
10

20

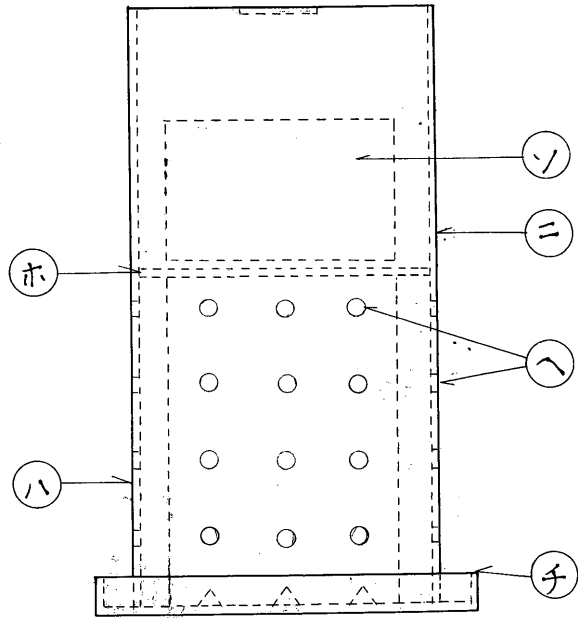
【図 1】



【図 2】



【図 3】



【図 4】

